

その他検討すべき内容について

熊本復旧・復興4カ年戦略

1 安心で希望に満ちた暮らしの創造

施策2 安全安心で暮らし学べる生活環境づくり

安心して学業に取り組める教育環境の充実・確保

経済的な理由で就学(修学)・進学が困難な児童生徒等には、学校の授業料等の減免や奨学金制度の創設等による支援を行います。

3 次代を担う力強い地域産業の創造

施策11 地域を支え次代を担う人材確保・育成

教育環境の再生・充実及び大学等の研究機能の活用

環境や農業分野などで熊本の研究機能を高めるとともに、高等教育機関の地域貢献の取組みを促進するため、水俣環境アカデミアにおける環境や地域再生等の教育・研究や、地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)における連携事業など、地方公共団体と企業、高等教育機関等が連携した取組みを支援します。

県と高等教育機関が連携した取組数	H27 47件	H31 70件
------------------	---------	---------

復興を担う次世代の人材確保・育成

児童、生徒、学生一人一人の勤労観・職業観を社会全体で育むため、県内産業界と連携したインターンシップ、職業講話や職場体験等を行うとともに、産業教育環境の整備、専門高校への熟練技能者派遣等による高度で専門的な知識や技能の習得を支援します。

若者の地方定着等の促進

県内企業と県内外の学生とのマッチングやインターンシップ、地元就職の利点や県内企業の魅力のPRを行うなどの取組みを進め、若者の県内定着を図ります。

新規学卒就職者(県内大学)の県内就職率	H27 44.7%	H31 54.4%
---------------------	-----------	-----------

4 世界とつながる新たな熊本の創造

施策13 世界と熊本をつなぐヒト・モノの流れの創出

世界とつながる国際人材の育成・活躍支援

震災を乗り越え国際的に活躍する人材を中長期的な観点から育成するため、英語教員のスキルアップや本県独自の教材の活用等により、“英語教育日本一”を目指します。

世界チャレンジ支援基金の活用や海外チャレンジ塾等により、児童生徒・学生等の国際交流や海外留学・進学等を総合的に支援し、コミュニケーション能力や主体性・積極性、異文化理解の精神等の向上を図り、将来、様々な分野で活躍できるグローバル人材を育成します。

官民連携による海外研修・留学者数	H27 47人/年	50人/年
------------------	-----------	-------

震災による外国人留学生の熊本離れを防止するため、留学生への相談支援や就職支援、効果的な情報発信など、留学生から選ばれる環境整備を進めます。また、外国人農業実習生等に県内で学ぶ機会を提供するとともに、EPA（経済連携協定）に基づく福祉人材の受け入れを拡大するなど、更なる活躍を支援します。

留学生(高等教育機関)の受入数	H27 735人/年	H31 1,000人/年
-----------------	------------	--------------

震災の影響で県外・国外就職を意識する外国人留学生の県内定着を図るため、九州各県及び外国人留学生の就職に携わる関係機関と連携して、留学生と企業の人材マッチング専用サイトの製作・運用などにより、県内の海外展開企業やインバウンド関連企業等への留学生の就職を促進します。

熊本地震の経験を踏まえて、大学における防災対策の見直し等

- ・ 緊急時対応の検証、防災対策の見直し
- ・ 日本赤十字病院や熊本市と結んだ避難所等にかかる協定書の見直し
- ・ 創造的復興や地域再生等にかかる教育研究の推進

大学にかかる規定等の改正等（現時点確認分）

- ・ 大学設置基準改正によるSD研修の義務化（H29.4.1 施行）
 - * SD・・・Staff Development スタッフ ディベロップメント
 - 教職員全員を対象とし、管理運営や教育研究支援までを含めた資質向上のための組織的な取組を指す。